事例 ８　　　　　　　　　　盲学校幼稚部交流及び共同学習実施計画

　　　　　　　　　　　　　　　　　　（交流および共同学習）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | | 平成３０年１０月３日（水）・４日（木）　午前１０時～１１時３０分 |
| 場所 | | 沖縄県立盲学校（幼稚部教室及びプレイルーム） |
| 参加者 | △△幼稚園 | ３日（水）  １組担任１名　１組園児　３２名　主任教諭１名　特別支援教育ヘルパー１名 |
| ４日（木）  ２組担任１名　２組園児　３２名　主任教諭１名　特別支援教育ヘルパー１名 |
| 幼稚部 | ３歳児１名　４歳児１名　５歳児１名　各保護者　主任教諭１名　教諭１名 |
| 移動方法 | | △△幼稚園児が、徒歩で訪ねる。 |
| ねらい | 共通 | ○同年齢の幼児との触れ合い交流を通して、幼児の経験の拡大と豊かな人間性を育む。  ○４年生になると、盲学校児童が□□小へ来校し交流があるため、その全段階としての交流を行うことで親睦を深める。 |
| △△幼稚園 | 1. 同年齢の幼児集団との交流を通して、幼児の経験の拡大と豊かな人間性を育む。 2. 活動を共にする事で触れ合い、他をいたわる心や思いやる心が育ち、双方が豊かな人間性を身につけていく。 3. 共に遊ぶことにより、より発達を促し、主体性を育てる。 |
| 幼稚部 | 1. 移住地域にある盲学校の事を知り、幼稚部に在籍する幼児と触れ合うことを通して、目の障害を持つ同年齢の幼児の存在とその生活を知り親しみを感じる。 2. 触れ合い交流を通して、人との関わり方、必要な言葉等の表現の仕方がわかり、   思いやりやいたわる心、自己発揮と自己抑制等の規範意識の芽生えを促す。   1. ふれあい交流を通して、感じた事、発見した事、感動した事等を言葉で表現する。 |
| 事前指導 | | (1)聴覚の発達に優れている幼稚部の幼児の特性を知らせ、室内での望ましい声の大きさを示し、意識して会話や遊ぶ時の声の大きさに配慮する。また、同じ階の教室では、各学部が授業中であることを知らせ、プレイルームでの声の大きさにも配慮する。  (2)幼稚部の幼児が○○幼稚園の○くみの園児になったと考えた時、「どんな言葉をかけられたら嬉しいのか？」「どんな事をされたら嬉しいのか？」「毎日、一緒にどうやって遊ぶか？」「同じクラスの子として、関わってみてね！」等の関わり方のヒントを与え、クラスで意見を出し合い、一人一人が出し合う意見の中から新たなヒントをもらい、個々の感じ方に合わせて、積極的に関われるようにする。  (3)安全面に配慮できる感覚を養えるよう、目をつむって隣の子と座って一緒に手遊びをする等、目の見えない、又は、見えにくい子の立場にたった疑似体験をし、関わる時には座って関わる、一人ずつ順番に話しかける等の具体的な気付きをクラス全体で共有する。  (4)集団での道路の歩き方（２列で片側をあけて、対向歩行者の妨げにならないようマナーを守る。前の人との間隔を空けすぎないで歩く。）信号の渡り方等、交通ルールを守って、安全に目的地へ到着し、帰園する。 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 内  容 | 9:40  9:50  10:00  10:15  10:45  10:50  11:20  11:30 | | 盲学校へ出発（体育着、水筒持参）  盲学校へ到着（靴と靴下・帽子は、玄関靴箱、水筒は、プレイルーム箱へ片付ける）  全体会（プレイルーム）   1. はじめのことば 2. 盲学校幼稚部や園児の紹介   ③ ルールの説明  自由遊び（３０分間）  ・プレイルーム・・・トランポリン、３人乗り自転車等  片付け  さようならの会   1. 触れ合い遊び　２人組で「一本橋こちょこちょ」「じょうぶないす」 2. みんなで、歌おう！（輪になって座る）「海の声」 3. さよならタッチ   ④ おわりのことば  盲学校出発  △△幼到着 |
| 持ち物 | | | 水筒 |
| 服装 | | | 体育気、名札、クラスカラー帽子 |
| ふりかえり | | | |
| 前年度の反省 | | * プレイルームのみで交流したので、遊びに集中できた。 * 最初に、一人一人握手出来たので、帰りには、より親近感が深まっていった様に感じた。 * 日常の保育の中で、幼稚部の子ども達が、△△幼稚園へ散歩に来たことで、より自然な流れと雰囲気の中での交流ができた。 * 幼稚部の幼児・保護者の方々が、とても喜んでくれていた。 | |
| 改善点 | | * プレイルームのみで交流した方が遊びが集中し、より交流しやすい。 * 仲介役としての教師の言葉かけや援助が大事である。   　（子供からの自発的な関わりを待つと、限られた時間内での交流は難しい） | |
| 継続したい点 | | * トランポリンやバランスシーソーなどは、幼稚部の幼児と共に楽しめて交流しやすい。 * 触れ合い遊びや歌を一緒に歌う経験が良かった。 * 歩く距離的にも、ちょうどよい。 | |